



「大学発ベンチャー表彰2024」最終ノミネート企業の選定について

JST（理事長 橋本 和仁）と新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO、理事長 斎藤 保）は、「大学発ベンチャー表彰2024～Award for Academic Startups～」の最終ノミネート企業を選定しました（別紙1）。

「大学発ベンチャー表彰」は平成26年度に開始した制度で、大学等^注の研究開発成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰します。

本表彰は、大学等の研究開発成果を用いた起業および起業後の挑戦的な取組や、大学や企業などから大学発ベンチャーへの支援などをより一層促進することを目的として実施しています。

本年度は令和6年4月1日（月）～5月14日（火）の期間で募集し、46件の応募がありました。外部有識者からなる「大学発ベンチャー表彰2024」選考委員会（別紙2）による応募書類の審査および面接審査を経て、大学発ベンチャー8社とその支援大学・支援企業を最終ノミネート企業として選定しました。

最終ノミネート企業の詳細については、別紙1および直下ウェブサイトを参照してください。

URL : <https://www.jst.go.jp/aas/award.html>

表彰式は、「大学見本市2024～イノベーション・ジャパン」内にて執り行います。最終ノミネート企業の中から、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞を始めとする各賞の受賞者を発表します。

日時：令和6年8月22日（木）午後1時30分～午後3時（予定）

会場：東京ビッグサイト 南1ホール セミナー会場（東京都江東区有明3-11-1）

「大学見本市2024～イノベーション・ジャパン」公式サイトにて事前登録いただきますとスムーズにご入場いただけます。

URL : <https://innovationjapan.jst.go.jp>

（※本件は、NEDOおよび経済産業省からも同時にプレスリリースを配信しています。）

注）大学等

国公立大学、高等専門学校、国公立試験研究機関、国立研究開発法人、公益法人などの非営利法人を指します。

<添付資料>

別紙1：「大学発ベンチャー表彰2024」最終ノミネート企業一覧

別紙2：「大学発ベンチャー表彰2024」選考委員一覧

参 考：「大学発ベンチャー表彰2024」概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部 スタートアップ出資・支援室

朝賀（アサカ）、風間（カザマ）

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

Tel : 03-6380-9014 Fax : 03-5214-0017

E-mail : [aas\[at\]jst.go.jp](mailto:aas[at]jst.go.jp)

文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課

大榎（オオサカキ）、佐竹（サタケ）

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

Tel : 03-6734-4584 Fax : 03-6734-4172

E-mail : [kengijut\[at\]mext.go.jp](mailto:kengijut[at]mext.go.jp)

「大学発ベンチャー表彰2024」最終ノミネート企業一覧

【文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、科学技術振興機構理事長賞、新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長賞、日本ベンチャー学会会長賞、アーリーエッジ賞、大学発ベンチャー表彰特別賞の各賞候補】（※五十音順）

AWL株式会社

事業内容：エッジAI技術を使った映像解析ソリューションの展開
支援大学等：北海道大学 情報科学研究院

株式会社エキュメノポリス

事業内容：会話AIエージェントプラットフォーム、およびそのアプリケーションの開発
支援大学等：早稲田大学 グリーン・コンピューティング・システム研究機構 知覚情報システム研究所

キュエル株式会社

事業内容：量子コンピューターの制御装置・ミドルウェアの開発・製造・販売
支援大学等：大阪大学 量子情報・量子生命研究センター

ソニア・セラピューティクス株式会社

事業内容：音響工学（超音波）技術を用いた次世代型超音波ガイド下集束超音波（HIFU）治療装置の開発
支援大学等：東北大学 大学院工学研究科
支援企業：平田機工株式会社

TopoLogic株式会社

事業内容：トポロジカル物質を用いた新たなメモリなどの開発
支援大学等：東京大学 大学院理学系研究科

トレジェムバイオフーマ株式会社

事業内容：歯数制御による歯の再生治療薬の開発
支援大学等：京都大学 大学院医学研究科
支援企業：三洋貿易株式会社

プラチナバイオ株式会社

事業内容：ゲノム編集技術を用いたサービス開発や、その社会実装のためのコンサルティング
支援大学等：広島大学 ゲノム編集イノベーションセンター

リンクメッド株式会社

事業内容：銅の放射性同位体⁶⁴Cuを用いたがんの診断と治療の両目的に使える次世代型放射性医薬品の開発
支援大学等：量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所

「大学発ベンチャー表彰2024」選考委員一覧

(敬称略、五十音順)

| | 氏名 | 所属・役職 |
|-----|--------|--|
| 委員長 | 野長瀬 裕二 | 摂南大学 経済学部 教授／ 首都圏産業活性化協会 会長 |
| 委員 | 江戸川 泰路 | 江戸川公認会計士事務所 代表パートナー |
| | 生越 由美 | 東京理科大学 大学院経営学研究科 教授 |
| | 各務 茂夫 | 東京大学 大学院工学系研究科 教授／ 産学協創推進本部 副本部長／ 日本ベンチャー学会 会長 |
| | 中川 普巳重 | 福岡大学 産学官連携センター 産学官連携コーディネーター 客員教授 |
| | 吉野 巖 | マイクロ波化学株式会社 代表取締役社長 |

「大学発ベンチャー表彰2024」概要

1. 大学発ベンチャー表彰とは

「大学発ベンチャー表彰～Award for Academic Startups～」は、平成26年度より新たに開始した表彰制度です。

大学等^{注1)}の研究開発成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰します。

本表彰は、大学等における研究開発成果を用いた起業および起業後の挑戦的な取り組みや、大学や企業から大学発ベンチャーへの支援などを促進することを目的としています。

また平成29年度より、若手経営者のよりアーリーなステージの企業にフォーカスし、経営者が40歳未満^{注2)}かつ設立後3年以内^{注3)}の企業のうち、今後の大きな活躍が期待できる大学発ベンチャーを表彰する「アーリーエッジ賞」を設け、若手経営者の挑戦を支援しています。

注1) 大学等

国公立大学、高等専門学校、国公立試験研究機関、国立研究開発法人、公益法人などの非営利法人を指す。

注2) 2024年4月1日現在

注3) 2021年4月1日以後設立の企業

2. 表彰対象

大学発ベンチャー^{注)}

特にその成長に寄与した機関、企業（研究開発成果を創出した大学、支援および協力した企業など）がある場合には、それらの機関も表彰します。

ただし、アーリーエッジ賞については、表彰対象を経営者が40歳未満かつ設立後3年以内のベンチャー企業とその支援大学等、および支援企業とします。

注) 大学発ベンチャー

ここでは、下記のいずれかに該当する企業を「大学発ベンチャー」と定義します。

- i) 大学等の特許を活用して起業したベンチャー企業
ただし、起業時点では上記に該当していないが設立5年以内に大学等から技術移転を受けたベンチャーも含みます。
- ii) 特許以外の大学等の研究成果を活用して起業したベンチャー企業
(特許は取得していないものの、大学等のアイデアやノウハウをもとに起業したベンチャー企業)
ただし、起業時点では上記に該当していないが設立5年以内に大学等と共同研究などを行った成果を活用したベンチャー企業も含みます。
- iii) 教職員・学生などによる人材移転型ベンチャー企業
- iv) 大学等が支援した出資・経営支援したベンチャー企業

【要件】

- ・大学等の研究開発成果を活用して起業したベンチャーであること
- ・応募時点で上場していない、おおむね設立10年以内のベンチャーであること
- ・過去の本表彰における文部科学大臣賞、経済産業大臣賞を受賞していないこと

3. 表彰内容

- ・ 文部科学大臣賞
- ・ 経済産業大臣賞
- ・ 科学技術振興機構理事長賞
- ・ 新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長賞
- ・ 日本ベンチャー学会会長賞
- ・ アーリーエッジ賞

※その他、大学発ベンチャー表彰特別賞が授与される場合があります。

4. 主催

科学技術振興機構

新エネルギー・産業技術総合開発機構

5. 後援

文部科学省、経済産業省、日本ベンチャー学会、全国地方新聞社連合会

以上